

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

| | 項目数 |
|--------------------------------|-----|
| 理念に基づく運営 | 11 |
| 1. 理念の共有 | 2 |
| 2. 地域との支えあい | 1 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | 3 |
| 4. 理念を実践するための体制 | 3 |
| 5. 人材の育成と支援 | 2 |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 2 |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 1 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 1 |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 6 |
| 1. 一人ひとりの把握 | 1 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 2 |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 11 |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | 9 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 2 |
| 合計 | 30 |

| | |
|-------|------------------------------|
| 事業所番号 | 2374700256 |
| 法人名 | 医療法人 丹羽外科 |
| 事業所名 | 中央グループホーム和 |
| 訪問調査日 | 平成20年6月29日 |
| 評価確定日 | 平成20年8月26日 |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 中部社会福祉第三者評価センター |

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

| | | | |
|---------------|-----------------------------------|-------|------------|
| 事業所番号 | 2374700256 | | |
| 法人名 | 医療法人 丹羽外科 | | |
| 事業所名 | 中央グループホーム和 | | |
| 所在地 (電話番号) | 愛知県岩倉市新柳町1-44 (電話)0587-65-5855 | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 中部社会福祉第三者評価センター | | |
| 所在地 | 愛知県名古屋市昭和区鶴舞3-8-10 愛知労働文化センター3F | | |
| 訪問調査日 | 平成20年6月29日 | 評価確定日 | 平成20年8月26日 |

【情報提供票より】(平成20年6月5日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|------------|---------------------------|-----|
| 開設年月日 | 平成17年1月21日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 10 人 | 常勤 6 人, 非常勤 4 人, 常勤換算 7 人 | |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|------------------|--|--|
| 建物構造 | 鉄筋 造り | | |
| | 3 階建ての 階 ~ 3 階部分 | | |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|------------------|----------------|------------------|-------|
| 家賃(平均月額) | 36,000 円 | その他の経費(月額) | エレベーター使用料6,000円他 | |
| 敷金 | 有(円) | | 無 | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(90,000 円) | 有りの場合 償却の有無 | 有(無) | |
| 食材料費 | 朝食 | 200 円 | 昼食 | 480 円 |
| | 夕食 | 480 円 | おやつ | 140 円 |
| | または1日当たり 1,300 円 | | | |

(4) 利用者の概要(6月5日現在)

| | | | | | |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 | 4 名 | 女性 | 5 名 |
| 要介護1 | 5 名 | 要介護2 | 2 名 | | |
| 要介護3 | 1 名 | 要介護4 | 名 | | |
| 要介護5 | 1 名 | 要支援2 | 名 | | |
| 年齢 | 平均 86.6 歳 | 最低 | 80 歳 | 最高 | 97 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|--------------|
| 協力医療機関名 | 医療法人 丹羽外科・内科 |
|---------|--------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設から3年半を経過した現在、地域の中のグループホームとして、ますます充実した支援を考える余裕・余力が感じられる。管理者のお話は、3回の外部評価とも、毎回「ただ『お世話をする』ことに精一杯だった開設当初から、認知症を学び・理解し・受け入れ、利用者本位・本人本位の支援を考え・実践し、どうする事が『その人らしさ』を『引き出す支援なのか、どうしたら『その人らしい』生活につながるのかを意識した支援を実行してきた』という一貫した言葉に集約されている。開設から今日まで、そのぶれる事のない介護精神・方針が、現在のホームの、明るく元気な雰囲気を作り上げ、支えていると言っても過言ではないだろう。利用者・管理者・職員が、地域の中で、同じ屋根の下で暮らす家族として、支え支えあう生活を実現し、さらに『毎日を楽しめる生活』を目標に、『誰も無理をしない』助け合いを実践する、まさに『大家族』そのもののホームである。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|------|--|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 今回評価でも、前回までと同様、ホームの運営・支援に対する改善に積極的に取り組み、さらに充実した支援を実現している。利用者とともに、散歩を兼ねた地域のゴミ拾いの実行等、ホームの中で考える改善から、外部への働きかけを行なうことへの改善に発想を転換し、地域・同業者・行政との関りに成果をあげている。 |
| 重点項目 | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 今回の自己評価は、外部評価が初体験の職員が多く、昨年度までの評価を参考に、評価の意義・意味の周知を図った。今後の評価を活かした取り組み・改善努力への意識が高い。 |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) |
| | 地域包括センター職員・区長・民生委員・利用者・家族等に参加をお願いし、概ね2ヶ月に1度の会議を開催している。活発な意見交換もあり、地域からの提案等、実行できるものについては、早急の対応を実行している。 |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) |
| | 家族来訪時の機会を活用し、直接の報告に努めている。また、来訪が叶わない家族に対しては、手紙での近況報告を行なっている。その他、随時の電話連絡等、家族の安心に配慮した取り組みを実践している。聴き取った内容は、運営者・管理者・職員で検討し、ホーム運営・介護方針に速やかに反映させている。 |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| 重点項目 | 継続的な取り組みとして、地域活動・行事等には積極的に参加し、地域住民からの声かけも多くなり、取り組みの成果を上げている。開設からの努力は実を結び、散歩・外出時の地域との交流・ふれあいにも「近所づきあい」の感がある。最近の新しい取り組みとして、散歩時に近隣のゴミ拾いを行なう等、地域の一員として、地域に貢献する取り組みの一つとしている |

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|--|---|-----|--|
| 1. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 管理者は、利用者が地域の一員として暮らし続けるための支援の基本を『地域のためのGH』理念として掲げ、ホームの目指す支援を明文化している。 | | |
| | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | ホームの事務室・共有空間の壁に、理念・目標、月目標を掲げ、具体的な支援につなげている。管理者・職員は、理念実践の意義を理解・共有し、日常の介護の中で、実践に向けて取り組んでいる。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域活動(介護フォーラム等)参加を通じ、施設紹介の壁新聞を作成し、ホームを正しく理解していただく取り組みにつなげている。また、継続的な取り組みとして、地域活動・行事等には積極的に参加し、地域住民からの声かけも多くなり、取り組みの成果を上げている。 | | 開設からの努力は実を結び、散歩・外出時の地域との交流・ふれあいにも「近所づきあい」の感がある。最近の新しい取り組みとして、散歩時に近隣のゴミ拾いを行なう等、地域の一員として、地域に貢献する取り組みの一つとしている。今後も、利用者・職員の楽しみにつながる、ホームの地道な取り組みに期待するところである。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 運営者・管理者共に、評価結果からの課題解決に対し早急の取り組みを実行し、利用者本位の介護方針・介護環境改善に努めている。開設以来の具体的改善事例は、ホームの歩みと重なり、継続的に、利用者・職員に快適な環境を提供する取り組みとなっている。 | | |
| | 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 地域包括センター職員・区長・民生委員・利用者・家族等に参加をお願いし、概ね2ヶ月に1度の会議を開催している。活発な意見交換もあり、地域からの提案等、実行できるものについては、早急の対応を実行している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|---|-----|--|
| 6 | 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 管理者が特に力を入れる取り組みの一つであり、行政との関係作りは継続的な取り組みとして実践している。市の介護フォーラム参加等で、認知症理解への働きかけを行なう等、ホームの役割についての認識も深い。また、介護・認知症についての地域の相談役としての役割も果たしている。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 家族来訪時の機会を活用し、直接の報告に努めている。また、来訪が叶わない家族に対しては、手紙での近況報告を行なっている。その他、随時の電話連絡等、家族の安心に配慮した取り組みを実践している。 | | |
| 8 | 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 来訪時・電話連絡時・推進会議等、家族意見の表明の機会は確保している。聴き取った内容は、運営者・管理者・職員で検討し、ホーム運営・介護方針に速やかに反映させている。 | | |
| 9 | 18 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員離職時には利用者にお別れの挨拶を行い、利用者のダメージに配慮している。馴染みの職員が居なくなった寂しさを利用者と共に共有し、利用者・職員全員で解決している。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 管理者は、職員の力量に配慮した研修計画を立案し、より実践的な指導に努めている。また、外部研修参加についても、職員の意欲は高く、研修受講の支援を行っている。 | | 管理者・職員の信頼関係の深さは、管理者の位置付けが「何事にも頼りになる人物」に他ならない。今後もその関係を活かした職員育成をお願いするところである。 |
| 11 | 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム協議会加入・部会参加、市内同業者会議等、同業者との交流の機会は多い。同業者を訪問する事を、新しい発見につなげ、ホームの質の向上に活かす取り組みを実践している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|--|--|-----|--|
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | 見学を兼ねた日中のお試し利用等で、ホームの雰囲気に馴染んでいただいていたからの利用開始となっている。利用者・家族に充分納得していただき、信頼関係のある支援に取り組んでいる。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | 馴染みの関係の中でのありふれた会話、気兼ねの無い会話が日常生活の中にあり、明るく楽しい声はずみ、実にはぎやかなホームである。訪問調査の視察でも、家事・手仕事等で時間を過す際、利用者・職員が話し合う姿があり、何ともほほましい光景であった。 | | |
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | 本人の意見の聴き取りに努め、本人の意志・意欲を尊重し、本人の喜びにつながる介護を実践している。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | ケアプラン検討会議には職員のみでなく家族も出席し、希望を伝えている。また、出席できない場合にも、事前に要望を聴き取り、介護計画に反映している。 | | 去年に引き続き、「ケアプラン実施表」を用いて、毎日、介護計画の目標に即した支援が実施できたかをチェック形式で記録している。利用者一人ひとりの目標の把握、職員の意識の向上につながるホーム独自の取り組みであると言えることから、今後も継続的な取り組みをお願いしたい。 |
| 16 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | 月に1回、定期的にモニタリングを実施し、職員間で利用者の状態について話し合い、結果を介護計画に反映している。また、利用者の状態に合わせ、急変の場合は随時見直しを行い、利用者本位の介護計画を作成している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|----|--|---|-----|-----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用) | | | | | |
| 17 | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 併設の母体法人病院の方針・協力で、緊急時等の対応をしている。法人内での整った医療体制は、利用者・家族の安心となっている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 併設の病院が提携医となっている。病院は地域からの信頼も厚く、グループホームに入居すると同時に、提携医の受診に切り替える場合が多い。また、歯科医等、専門医に関しては、利用者・家族の希望を聞きながら対応し、ホームの方からも、訪問医等の紹介を行なっている。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | ホームでは利用者・家族に、終末期についてのアンケートをとり、希望・意向の確認・把握につとめている。法人内病院との協力体制も整っており、利用者・家族の意向に沿うように、支援している。利用者・家族の意向に沿い、終末期・看取りの事例がある。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 職員は、トイレ・入浴等、日常生活の中で利用者の尊厳に配慮した声掛け・介助に努めている。訪問当日の視察でも、職員の声掛けは明るく優しい雰囲気であった。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 訪問当日の昼食後、テレビを見る利用者・昼寝をする利用者等それぞれの日課・過ごし方があり、職員は一人ひとりのペースに合わせ、声掛けをしていた。職員の利用者の時間を大切にしたいという気持ちが伺えた。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|----|--|--|-----|----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事を利用者の楽しみの時間と位置付けし、利用者本位の支援を実践している。また、おやつは手作りにこだわり、できる限り職員と利用者で作る等の、コミュニケーションの機会にしている。訪問当日も、手作りのおやつをホーム長が作り、利用者からも好評で、食堂は会話と笑顔で溢れていた。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴日は決まっているが、入浴する・しないは利用者の意向の聴き取りを行っている。また、長風呂希望の利用者は最後に入浴してもらう等の工夫もしている。入浴好きの利用者が多く、個浴対応で支援している。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 食後の後片付けには、女性利用者に混ざって男性利用者も参加し、お盆拭きは男性利用者の役割となっている。また、洗濯物干し・洗濯物たたみ・掃除等、利用者の活躍の場は多く、生きがい・やりがいへと繋げている。また、手仕事を兼ねての作品作り等、ホームでの楽しみに配慮している。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 利用者に声掛けをし、可能であれば毎日散歩に出ている。毎日違うコースにする・休憩場所を変える等、利用者が散歩を楽しめるように工夫している。積極的な外出支援が功を奏し、地域との関りも「ご近所付き合い」の感があり、顔見知りの住民との挨拶・立ち話が日常となっている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 管理者・職員は、鍵をかける事での利用者への弊害をよく理解し、ホームの出入り口であるエレベーターを開放し、家族等の訪問・利用者が一人で散歩する際、出入りに不便とならないように工夫している。訪問調査日も、家族が自由に出入し、対外的に開放された、明るい雰囲気があった。 | | |
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | ホームでは避難訓練・マニュアルの見直しを行い、利用者の安全管理に努めている。併設の法人母体病院との連携・協働もあり、緊急対応体制については、利用者・家族の安心となっている。さらに、運営推進会議では地域との連携も話し合い、まずは地域避難訓練への参加を予定している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|--|---|-----|-----------------------------------|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 利用者がより多く経口摂取できるように、一人ひとりの状態に合わせ、食形態や介助の仕方を工夫している。食事摂取量・水分摂取量は記録され、日々の利用者の健康管理に活かしている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | リビングには自然光が差し込み、ホームは明るく柔らかい雰囲気であった。壁には、利用者の写真や手形、職員と作った季節の作品等を飾り、共同生活の楽しさを感じることができる。掃除は隔々にまで行き届き、利用者の快適な日常生活がうかがえた。 | | |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室には多くの物品が持ち込まれ、それぞれ個性のある居室となっており、ホームの積極的姿勢・家族の協力がうかがえる居室である。また、利用者のホームでの生活時間の経過と共に、新たな馴染みの物品も加わり、一見して居心地の良さが感じられた。 | | |